

血管撮影装置

当院では 2024 年 9 月から血管撮影装置をオランダ国フィリップス社製の最新鋭脳血管内治療用血管撮影装置 Azurion7M20 に更新し、導入しております。

最新装置の導入によって、脳卒中の原因である動脈瘤、動静脈奇形、血栓が末梢で詰まることにより発生する脳梗塞部位での血栓回収を最新技術により高度な診断が可能となり、即座にカテーテルを用いた最先端治療が実施できます。

この装置は超高画質間接変換方式平面検出器：FPD（フラットパネルディテクター）を搭載しており、以前の装置より視認性が上がり、より高精細な画像が提供できるようになりました。

また、当システムは術中に血液の流れを解析できる最新のソフトウェアから 3D 画像を構築するための回転撮像データを使用して高分解能コーンビーム CT の再構成画像を診断画像として得ることができデバイス治療を安全に実施することができます。

また、一度透視を出せば、その画像から位置を計算することで放射線を出す透視を出すことなく位置決めできるようになりました。この機能や装置の進歩により、以前使用していた装置より約 50%被ばく線量が下がり、患者様により低侵襲で安心できる検査をご提供できるようになりました。

血管撮影とは・・・

カテーテルという細い管を動脈や静脈に挿入し、目的の血管内に X 線で見える造影剤を注入しながら X 線撮影を連続的に行うことで、血管の形態や流れを調べる検査です。この検査によって腫瘍や血管の病気（狭窄・閉塞）の診断を行います。またこの技術を使って腫瘍の栄養血管を塞栓したり、狭い血管を拡張させたりする治療：IVR（Interventional Radiology）も行うことがあります。



Philips 社製 Azurion 7 M20



撮影画像一例